



臨床腫瘍センターだより



第4号(2008年8月12日)

緩和ケア部門より

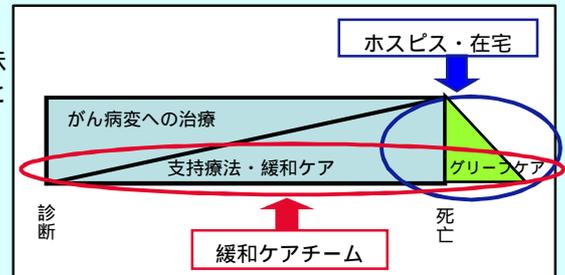
緩和ケア医療とは

以前は、末期がん患者などに対して痛みなどをはじめとした身体的、精神的な苦痛の除去を目的とした医療やケア(ターミナルケア)を意味する場合が主でした。しかし近年では、がん診断初期から積極的治療と並行して行うべきであるとされています。

<形態と特徴>

- ・緩和ケア病棟やホスピス、施設型ホスピス、在宅ホスピス
終末期患者を対象
- ・緩和ケアチーム(図1参照)
抗がん剤治療中の患者さんも対象

図1 包括的緩和医療と緩和ケアチームの関わり



当院の緩和ケアチームの活動状況

2007年度に当院緩和ケアチームへ紹介された診療科別の患者と performance status (以下PS) を図2-1に示します。また、紹介された全患者のPSの割合を図2-2に示します。これらの図からも分かるように、日常生活を他人の手を借りずに不都合なく送られている方(PS1)から、一日のうちのほとんどを臥床して過ごされ介護が必要な方(PS4)まで幅広く紹介があります。このように、当院の緩和ケアチームの活動も終末期だけに限定されたものではないことがお分かりになるとと思います。

performance status (PS) の説明

0	無症状
1	軽度の症状があり、軽労働が可能。
2	時に少しの介助が必要。 日中の 50%以上は起居 している。
3	しばしば介助が必要。 日中の 50%以上は臥床 している。
4	常に介助が必要。 終日臥床 が必要。

図2-1 各診療科紹介患者数とPS

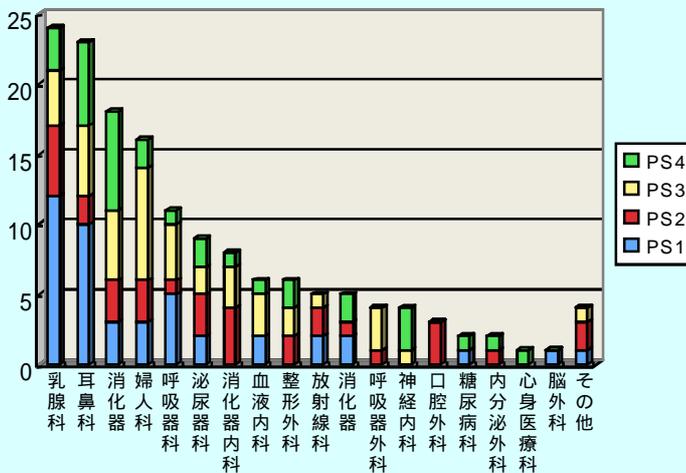
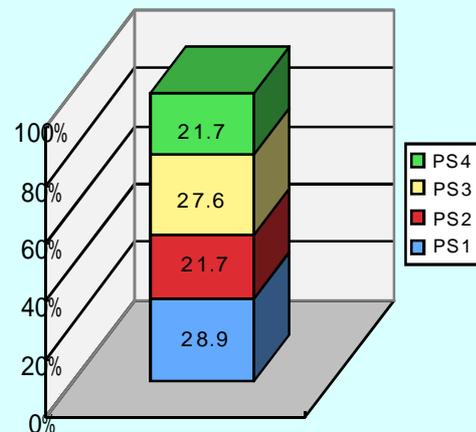


図2-2 総紹介患者PSの割合



QOL向上に向けて

最近では緩和ケア外来(麻酔科外来)への紹介数も徐々に増えてきており、緩和ケアチームへの紹介患者のうち、入院患者の平均PSが2.6に対して外来患者は1.2と低くなっています。外来の場合、紹介時点では体力もあり、全ての方が外来化学療法を施行されています。しかし、「治療には痛みやつらさを伴うのが当然だから我慢するもの」と決め付けている患者さんが多く見受けられ、各診療科の外来では医師とは治療のことだけを相談し、患者さんが十分に医師、看護師につらさを表出できる機会が少ないようです。

がんの初期であれば、症状は痛みだけのことが多いため、疼痛さえなければ普段と変わらない生活を送れます。一方、終末期においては嘔気、食欲不振、全身倦怠感、せん妄などの複数の症状に悩まされるため、痛みだけが軽減したとしても日常生活を自力で送るのは困難になり、介護を要することには変わりありません。

がん患者さんの長い闘病期間において「良い時間」を過ごしていただくためには、初期からの、すなわち外来通院している時期からの疼痛コントロールが必要と考えられます。そのために我々医療従事者が患者さんのためにできることは・・・

少し余裕を持って、「何かおつらいことはないですか?」と一声かけることから始めてみませんか?

文責：麻酔科学講座 学内講師 佐藤 薫

< 院内がん登録部門からのお知らせ >

院内がん登録について

がん対策を実施するためには、正確ながんの実態把握は必要で、その中心的な役割を果たすのが「がん登録」です。

院内がん登録は、当院でがんの診断・治療を受けた全患者について、がんの診断、治療、予後に関する情報を登録します。院内がん登録の情報提供・生存率の計測のためにも予後情報が重要となってきます。

患者さんの紹介・転院先より、予後の連絡がありましたら、電子カルテへの記載、返事や紹介の文章の取り込み（スキャン）をお願い致します。



7月の外来化学療法室利用状況 利用者数 216名

(単位: 人)

消化器外科	46	消化器内科	26
消化器外科	13	婦人科	11
乳腺外科	62	泌尿器科	1
呼吸器科	22	血液内科	3
呼吸器外科	3	小児科	29
		合計	216



お知らせ

Cancer board開催案内

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。医療従事者であればどなたでもご自由に参加できます。

骨軟部	8/18(月) 18時30分
小児	8/28(木) 19時
呼吸器	9/1(月) 19時
悪性リンパ腫	9/3(水) 19時30分
乳腺	9/3(水) 19時
消化器	9/11(木) 19時30分

緩和ケア学習会開催案内

内容：『口腔ケア』
 「化学療法・放射線療法を受ける方の口腔ケア」
 当院歯科衛生士 遠藤 裕子様
 「終末期における口腔ケア」
 太田西ノ内病院 緩和ケア認定看護師
 後藤 郁子様
 日時：2008/8/12(火) 18時～19時
 場所：当院第二カンファランス室

一般の方、院内外の医療従事者の方が対象となります。緩和ケアに関心のある方は是非ご参加下さい。

今回は9/9(火) 18時からです。

臨床腫瘍セミナー開催案内

演題：「緩和ケアにおけるオピオイドローテーション」
 ～ 実例を通して問題点を探る ～

講師：当学麻酔科学講座 学内講師 佐藤 薫先生

日時：2008/8/19(火) 18時～19時

場所：第二臨床講義室

はじめに、4社の製薬会社より「オピオイド」についての説明があります。(時間は各々5分間程度です)

大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します。これまでに開催されたセミナーのDVDを貸出します。ご希望の方は内線3160(阪場)までご連絡下さい。

～ ～ 今後の開催予定 ～ ～

9/16(火)

内容：「補完代替医療(CAM)におけるリラクゼーション」
 ～ 基本と活用について ～

講師：当学看護学部生態看護学部門 助教 菅野 久美先生

10/21(火)

内容：「がん治療における陽子線治療の役割について」

講師：財団法人脳神経疾患研究所

附属 南東北がん陽子線治療センター
 センター長 不破 信和先生

